

第 2 2 章

災害及び事故

第 2 2 章

災害及び事故

水稲被害

平成 19 年における府内の水稲被害の概況は、被害面積 7700ha、被害量 1530t、被害率 5.0%で、前年に比べ被害面積は 5820ha (39.8%)の減少となり、被害量は 18.2%の減少となった。

労働災害

平成 19 年における府内の労働災害による死傷者数は、死者が 99 人、負傷者(休業4日以上)と合わせて 9712 人で、前年より 125 人の増加となった。

産業別にみると、製造業での死傷者が 2470 人で全体の 25.4%を占め最も多く、以下、建設業 1581 人(構成比 16.3%)、商業 1452 人(同 15.0%)の順となっている。最も多い製造業の中では、金属製品製造業が 736 人と大きな割合を占めている。

火災

平成 19 年における府内の火災件数は、前年より 257 件増加し 3632 件(前年比 7.6%増)、死傷者は 11 人減少し 808 人(同 1.3%減)となっており、損害額は 48 億 4791 万円増加の 101 億 9241 万円(同 90.7%増)であった。

月別では、3月の 382 件(構成比 10.5%)が最も多く、次いで1月の 334 件(同 9.2%)の順になっている。

地域別では、大阪市地域が 1392 件(構成比 38.3%)で最も多く、次いで北河内地域 459 件(同 12.6%)、泉北地域 442 件(同 12.2%)となった。

発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年と比べ 160 件増加し 1469 件(前年比 12.2%増)で最も多く全体の 40.4%を占め、次いで、「都市・プロパンガス関係」が 33 件増加し 549 件(前年比 6.4%増、構成比 15.1%)となっている。

また、平成 19 年度末現在の府内の防火対象物数は、前年より 488 棟増加し 24 万 9100 棟(前年比 0.2%増)となった。

交通事故

平成 19 年における府内の交通事故発生件数は、5 万 9062 件(前年比 6.0%減)、死者 248 人(同 2.7%減)、負傷者 7 万 916 人(同 6.1%減)となった。

事故発生の主原因者となった第一当事者別では、車両関係 5 万 7179 件、歩行者 39 件、不明 1844 件となっている。

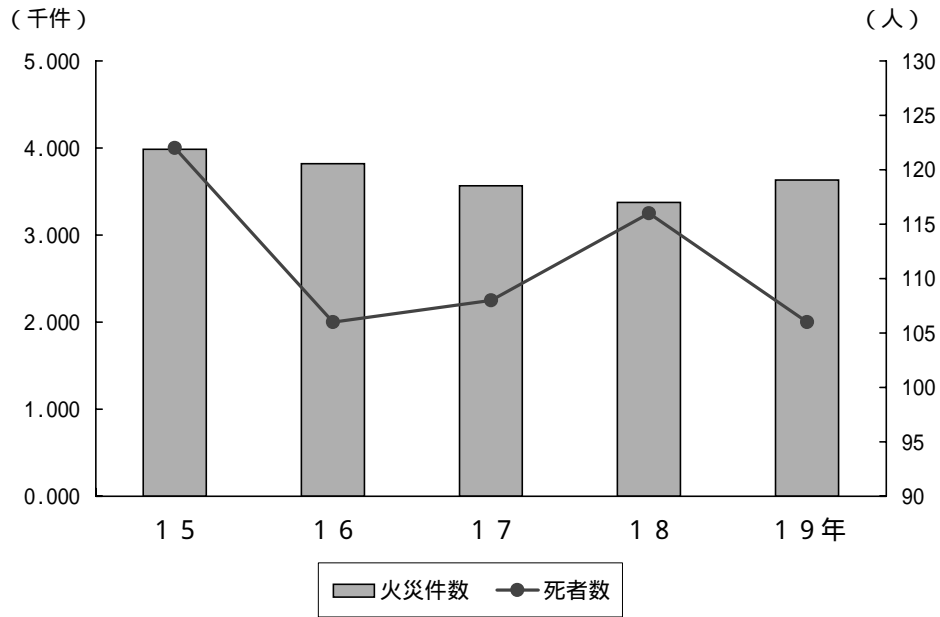
このうち車両関係を車種別にみると、普通乗用車が 2 万 8510 件と 49.9%を占め最も多く、以下、軽乗用車 7548 件(構成比 13.2%)、普通貨物自動車 6916 件(同 12.1%)、軽貨物自動車 4963 件(同 8.7%)、原付(50cc 以下) 4148 件(同 7.3%)の順となっている。

また、法令違反別にみると、安全不確認 2 万 7619 件(構成比 48.3%)、前方不注意 9116 件(同 15.9%)、動静不注視 6879 件(同 12.0%)の順となっている。

一方、歩行者関係の事故件数は、第一当事者及び第二当事者合わせて 4639 件で、死者 76 人、負傷者 4701 人となっており、横断中の事故が 2652 件と全体の 57.2%を占めている。

なお、全国の交通事故発生件数は、83 万 2454 件(前年比 6.1%減)でこれを都道府県別にみると、東京都の 6 万 8603 件(構成比 8.2%)が最も多く、以下、大阪府 5 万 9060 件(同 7.1%)、愛知県 5 万 5604 件(同 6.7%)の順となっている。

火災件数と死者数の推移



交通事故件数と死者数の推移

